

2007年7月3日  
東日本旅客鉄道株式会社

## いよいよ世界初のハイブリッド鉄道車両が営業運転を開始します！！

JR東日本では、「環境負荷低減」をコンセプトに、新しい動力システムであるハイブリッドシステムを搭載した車両（キハE200形）を3両新造しましたが、2007年7月31日から小海線（小淵沢～小諸間）で、世界で初めて営業車として運転を開始します。

### 列車運転計画

・7月31日（火）[運転開始初日]

#### 《下り列車》

中込駅	9:55発	小諸駅	10:23着
小淵沢駅	13:50発	中込駅	15:34着

#### 《上り列車》

小諸駅	10:36発	小淵沢駅	13:32着
-----	--------	------	--------

・8月1日（水）～9月2日（日）の毎日

#### 《下り列車》

中込駅	6:55発	小諸駅	7:23着
小淵沢駅	10:07発	野辺山駅	10:41着
小淵沢駅	12:39発	野辺山駅	13:11着
小淵沢駅	14:02発	野辺山駅	14:38着
小淵沢駅	15:33発	中込駅	17:29着

#### 《上り列車》

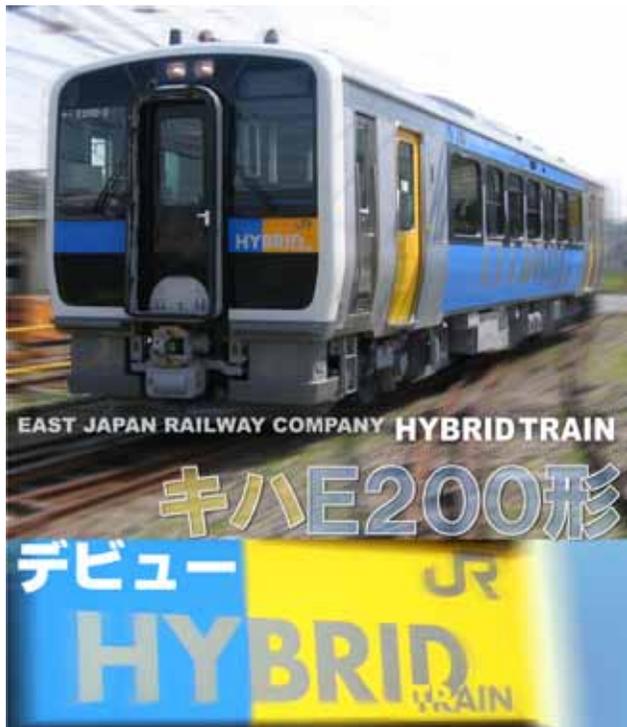
小諸駅	7:49発	小淵沢駅	10:01着
野辺山駅	10:50発	小淵沢駅	11:21着
野辺山駅	13:20発	小淵沢駅	13:49着
野辺山駅	14:48発	小淵沢駅	15:22着

9月3日以降は土休日の臨時列車で運転するほか、平日の定期列車でも使用する予定です。  
運転計画は決定次第ホームページ、時刻表などでお知らせします。

### 出発式

7月31日（火）には、中込駅で9時頃から初列車の出発式を行います。  
また、小淵沢駅、清里駅、野辺山駅、小海駅、小諸駅でも運転開始記念セレモニーを行う予定です。

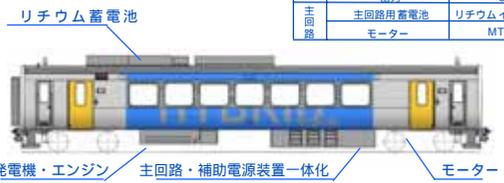




JR東日本では「環境負荷低減」などのコンセプトのもと、新しい動力システムであるハイブリッドシステムを開発し、このたび営業車としては世界初のハイブリッド鉄道車両3両を新造しました。今後、小海線において営業運転に使用していきます。

### 主な性能と特徴

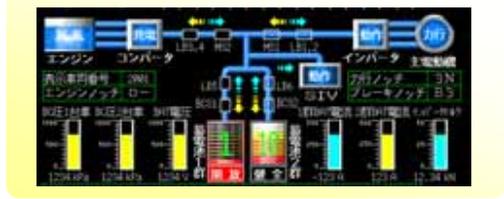
定員	人	117 (座席定員:46)
最高運転速度	(km/h)	100
主要寸法	車体長 (mm)	19500
	車体幅 (mm)	2920
	屋根高 (mm)	3620
	床面高 (mm)	1130
機関	方式	直噴式直列6気筒横型ディーゼルエンジン
	出力	331kW (450PS)
主回路	主回路用蓄電池	リチウムイオン蓄電池 15.2kWh
	モーター	MT78 定格95kW



## HYBRID コンセプト

### 環境に優しい車両

- ・省エネルギー 燃料消費量の低減
- ・有害排出物削減 窒素酸化物 (NOx) 粒子状物質 (PM) を約60%低減
- ・騒音低減 エンジン騒音の低減: 約30dB (駅停車時アイドリングストップ) <数値はキハ110系と比較>



### メンテナンス軽減

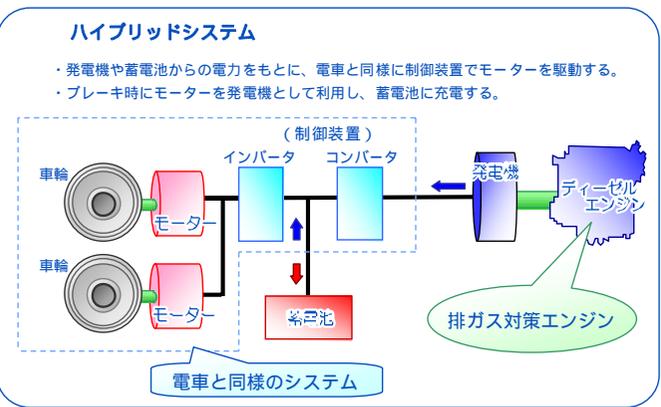
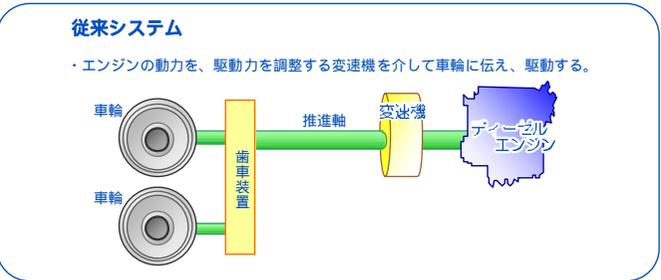
- ・電車部品採用による省メンテナンス
- ・変速機等のメンテナンスが必要となる部品の削減
- ・電気暖房・電気冷房採用による温水・冷媒配管の廃止
- ・省メンテナンス部品 (補助電源装置、インバータ・コンバータ、モーター等) の採用

### 人に優しい車両



## HYBRID ハイブリッドシステムの概要

### ハイブリッドシステム比較



### ハイブリッドシステムのエネルギーの流れ

